

串原・上矢作 やろまいか、おたすけプロジェクト

概要

過疎地域に指定され、高齢化率40%を超える上矢作、串原地域においては、買い物弱者の支援が課題となっている。このため、地域の実態を把握するとともに、今後の事業展開につなげるため、宅配、移動販売事業の実証実験を行い、恵那市内全域の高齢化に向けた生活者の暮らし、命を守るための方策を検証した。

事業の内容

事業の内容

住民アンケート調査による市民意向の把握。市内商業事業者へのヒアリングによる販売環境の実態把握。事例調査。上矢作地域における宅配事業の実施、串原地域における移動販売事業の実施。将来的に可能な仕組みの検討。

総事業費

11.2百万円

ポイント

- 上矢作地域では、地元小売店の協力による宅配事業の実施
- 串原地域では、地元店舗がないため、生活協同組合コープぎふの協力により移動販売事業を実施

事業の成果

- 上矢作地域で延べ約380人、串原地域延べ約570人の利用があった。
- 利用者の約9割から生活に役立ったとの評価を得た。(アンケート調査)
- 事業性の検討により、継続して事業採算を確保するための条件(事業採算をとれる収入の目標金額、経費の削減方法、地元の買い支えの意識等)が明確になった。
- 地元のまちづくり委員会等で継続できる取組みの検討が始まった。

岐阜県恵那市

移動販売風景



移動販売風景



店舗と販売車



宅配の様子

